

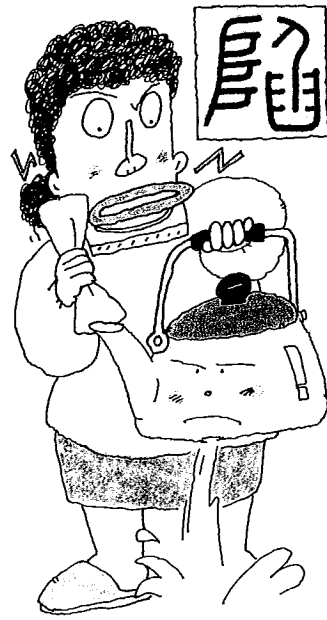
# 陥

カン  
おちいる・おとしいれる

10画  
冫 阝 阝 阝 阝 阝

「左下へはらう」

▼みとじゆく」  
▼くずれ落ちる。  
陥没：土地がくずれ落ちて、へこむこと。  
▼城が落ちる。せめ落とされる。  
陥落：①土地が落ちこむこと。  
②城などがせめ落とされること。征服されること。  
▼人をおとしいれること。人を計略でだますこと。  
▼足りない所。あやまち。  
欠陥：不備。重大な欠点。例  
欠陥商品  
▼よみかた 失陥



なりたち 旧字体は陥。人がおとし穴に落ちた形をかたどった召(砂)と、崖(砂)または丘の意味のト(二ぎと)との会意形声字。崖や丘などが「くずれ落ちる」ことを表した字。転じて、「城が落ちる(おちいる)」こと。

# 陷

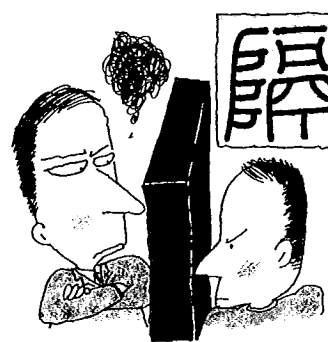
# 隔

カク  
へだてる・へだたる

13画  
冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

「はわる」

▼みとじゆく」  
▼へだたる。へだてる。  
隔離：他の者との間を隔てて、離しておくこと。用例  
コレラ患者を隔離する。  
隔絶：かけはなれること。  
用例  
時代と隔絶した考え方  
間隔：物や時間のへだたり。  
用例  
十分間隔で発車するバス。  
隔世：①時代をへだてること。時代が遠くへだたること。  
用例  
隔世の感がある。②世代をへだてること。例  
隔世遺伝  
留意：へだてのある心。うちとけない心。  
疎隔：親しみが失(う)せてへだてができること。用例  
疎隔を生じる。  
よみかた 隔月・隔日・隔週・隔年・隔壁・遠隔・分け隔て



なりたち 地面からへだたつて三本足で立つ鼎(かま)の一種の隔(か)へだたる意味にも用いる)と障壁の意味のト(二ぎと)との会意形声字。間に崖(砂)や丘などの障壁があつて、間を「へだてる」ことを表した字。

# 隆

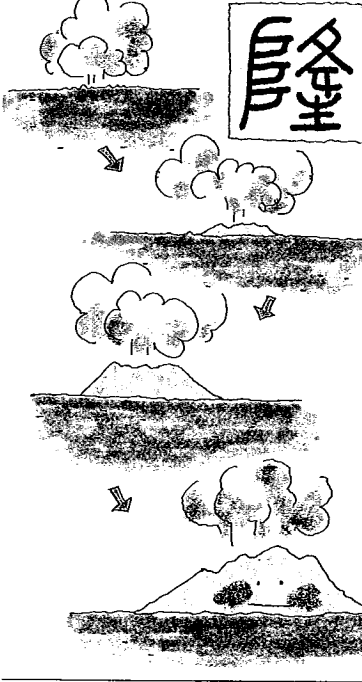
オン  
リュウ

11画  
冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

「はらう」

なりたち 旧字体は隆。古い字体は降と生(植物が土から芽を出した形の字)との会意字。雨が降つて植物が生き生きと盛んになることを表した字。転じて、「盛り上がる。高い」意味に用いられる。

▼盛んになる。  
隆盛：勢いが盛んになること。栄えること。  
興隆：物事が盛んになること。興隆文化が興隆する。  
用例  
隆起：①勢いの盛んな様子。②盛りあがっている様子。例  
筋肉隆々  
▼盛りあがる。高い。  
隆起：土地などが高く盛り上がる。盛り上がる。盛りがつてい



# 陳

オン  
チン

11画  
冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

「どめる」

なりたち 丘の意味のト(二ぎと)と、木と申との会意形声字。申は音符。丘に木が「つらなる」ことを表した字。「つらなる」ならば「つらねる」ならべる。転じて、「古くなる」意味。

▼古くなる。  
陳腐：古くさくて、新鮮なものも入れ替わること。特に生物の、新しい栄養を取り入れて老廃物を体外に出す働きのこと。  
▼述べる。  
陳述：口頭で述べること。  
陳情：事情を述べて、対策を立ててくれるよう願うこと。例  
陳情団  
陳謝：わけを述べてあやまること。  
開陳：自分の意見を人々の前で述べること。



# 隆陳